

## 仏さまのはなし

## 響流

~ KOURU ~

発行所  
茨城東組事務局  
茨城県常陸太田市  
久米町20-1  
正念寺内



## 植木等さんを偲んで

大覺寺住職 板敷 純雄

クレイジーキャッツのメンバーである植木等さんは、三重県の浄土真宗のお寺に生まれ、俳優、歌手、コメディアンとして活躍した有名な方であります。

植木さんの代表作である「無責任男シリーズ」では、その主人公として、題名のとおり無責任でいい加減な役を演じています。

しかし役柄とは違い、植木さんの性格は、大変真面目な方であったようです。植木さんが初めて『スーダラ節』の歌詞を見たとき、「こんないい加減な歌を歌ってもいいのだろうか」と真剣に悩み、浄土真宗の僧侶であった父親に相談したことがあったそうです。

お父さんから「どういう歌なんだ」と聞かれて、父親の前で『スーダラ節』を恐る恐る歌ってみました。あまりにふざけた歌なので激怒されると思いましたが、お父さんは次のような意味合いのことを言われていたそうです。

「この『スーダラ節』の歌詞は、親鸞聖人の教えに通じるものがある。わかっちゃいるけどやめられない。こここのところが人間の弱さを言い当てている。

人類が生きている限り、このわかっちゃいるけどやめられないという生活はなくなるらない。」こう言って「上出来だ頑張ってこい。」と背中を押された、と後年植木さんは語っています。

その後植木さんは、お父さんの言葉を胸に『スーダラ節』を歌われました。植木さんのお父さんが語られたように、わかっちゃいるけどやめられない、それが煩惱を持った私の姿ではないでしょうか。そのような罪悪深重ざいあくじんじゅうの凡夫ぼんぶである私を必ず救いますと阿弥陀様は誓われているのです。だからこそ私たちは阿弥陀様の救いの中で、自らの姿を省みかえりつつ、生きていなければいけません。



合掌



植木 等(うえき ひとし)

1926/12/25~2007/3/27

俳優、コメディアン、歌手、  
ギタリスト、タレント

父は真宗大谷派寺院の住職

## お寺紹介

## 第6回

## 西光寺

〒317-0077 日立市城南町 3-5-15



西光寺は、無量院久遠山と号し、日立市城南町の山間の一隅にある、浄土真宗本願寺派の寺院です。寺伝によると明治三十八年(1905年)、江戸時代から採掘されていた日立村の赤沢銅山を久原房之介氏が買収し、村名にちなんで日立鉱山に改名、久原鉱業所(現在のJX金属)を創業。当時の多賀郡日立村新町(現、日立市白銀町)の共楽館(現在武道館で登録文化財)近くに、明治四十二年(1909年)九月十七日「浄土真宗本願寺派日立説教所」が設けられた。これを母体とする寺院であります。

その当時、鉱山事業に協力していた門徒たちが、栃木県下都賀郡国分寺町(現在下野市)の蓮花寺出身で栃木県上都賀郡足尾町(現在日光市)の無量山専念寺を開山した藤本有教師を招致し開設されました。専念寺における有教師は、本坊の他、日立をはじめ説教所を五カ所設けられました。そして「南無阿弥陀仏のみ教えを信じ、必ず佛にならせていただく身のしあわせを喜び、つねに報恩のおもいから、世



昭和23年に移築された鐘楼

のため人のために生きる」を旨として布教活動をされていました。

寺名は、和歌山県伊那郡端場村(現在、橋本市名古曾)の「西光寺」の名跡を頂いたそうです。

昭和十四年(1939年)九月一日に助川町が日立町と新設合併して市制を敷く日立市となりました。

当寺院も助川町松沢(現在、日立市弁天町)に説教所等を設置するも昭和一七年(1942年)十月、太平洋戦争激化により、現在地への移設となりました。

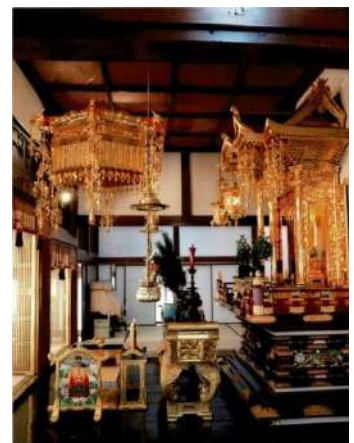
戦後、昭和二十三年(1948年)、住職藤本顕教師の代に、専念寺の移設により廃寺となった境内から、本堂と鐘楼が移築されました。戦時供出された梵鐘が無い鐘楼でしたが、戦争及び、戦災犠牲者に対する「慈悲の鐘」として復元されました。

その後、墓地の造成整備、本堂の屋根や納骨室の修復。本堂移築五十年記念事業として山門の建立、潜り門の建立、お内陣仏具の修復、駐車場の増設整備等を実施して、現在は、門徒が集える会館建設に向けて事業を進めているところです。

西光寺門徒推進委員

布施・佐藤・石田

合掌



平成14年修復のお内陣

# 作法のいろは



浄妙寺副住職 那須 信行

日頃の仏事において「なぜこれはこのようにするの  
だろう?」と、疑問に思われたことはありませんか?  
特に浄土真宗においては、世間に広まっている仏教の  
教えや作法と違うところが多いので、戸惑う方もいら  
っしゃるかと思えます。

今回より、そのような浄土真宗の仏事にまつわる皆  
様の疑問を、共に考えていきたいと思えます。

今回は各ご家庭にあるお仏壇に関する問いです。

**【問い】** 日頃のお参りで、お仏壇にお線香をあげ

ています。先日、住職にお線香は寝かせてお供えしま  
すと言われました。なぜお線香は立てずに寝かせてお  
供えするのでしょうか?

**【回答】** 浄土真宗では、お線香を立ててお供えし

ません。お線香は本来、長時間お香を燃やし続けるた  
めに抹香(粉末状にしたお香)を灰中に蛇行させて埋  
め、一端から燃やしていく代わりとして使用するもの  
で、同じように寝かせてお供えするのが適切です。ま  
たお線香は香炉の大きさに合わせ、適当な長さに折つ  
てお供えいたしましょう。

**【問い】** お仏壇に故人の使用していたコップにお水を入れ  
てお供えしています。仏さまものが渴くのでしょうか?

**【回答】** お仏壇に水やお茶をお供えするのは、「仏さまや

亡き人ののを潤すため」と思っている方が多くいらつしや  
います。しかし、亡き人が生まれた阿弥陀さまのお浄土には

「八功德水」という尊い水がふんだんに讃えられてあるので、

あえて残された私たちがそのような意味合いで水やお茶をお  
供えする必要はないのです。

水は、私たちの生活に欠かせない貴重な自然の恵みです。

浄土真宗ではこの尊い恵みを仏さまの恵みと味わい、報恩感  
謝の心から華瓶けびょうという仏具を用いてお供えします。お仏壇の

上段(上卓)に一对、小さい花瓶のような仏具がありません

か?それが華瓶です。正しいお供えの仕方は、華瓶一对に水を

入れ、しきみ 檜しきみまたは青木を生け、上卓に置きます。檜は香木です

ので、つまり香水としてお供えします。仏さまの恵みを清らか  
な香水にしてお供えするところに、敬いと感謝の心が込めら  
れているといえるのではないのでしょうか。

なお、華瓶がなければ特別用意する必要はありません。生花  
を生けている花瓶の水も尊い恵みとして、常に清潔に保つよ  
う心がけましょう。

称名念仏

## お知らせ

# 連続研修会のご案内

みなさんでともに浄土真宗を学んでみませんか？

連続研修会は単に浄土真宗のみ教えを教わる事が目的ではなく、浄土真宗のみ教えが、あなた自身の生活にいきている必要不可欠なものであることを実感し、生きる意欲を引き出す研修会です。

2年を1期とし、現在第15期が無事終了。数百人のご門徒さんがこの研修を卒業されております。

16期は7月からスタートしました。興味のある方はお近くのお寺まで！

## 中央教修に参加し、門徒推進委員として

悲しみや苦しみ喜びの人生を多くの方々と、ともに歩んで下さい。

中央教修とは全国の各地域で行われる連続研修会を修了した方を対象に、御本山西本願寺で行われる研修会の事です。3泊4日の日程で行われ、全国から参加される受講者、スタッフとも親しくなる事ができ、人生の視野が格段に広がります。仏法を聞き、法友との話し合いによってこれまで遠い世界の事と捉えていたみ教えが、いのちの大切さを説き、病気や死の恐怖を乗り越え、自分の生活が光り輝くものに変えてくれる尊い教えであったという体験がきっとできると思います。

法とともに朋とともに、これからの人生歩んでみませんか？

やり直す事の出来ない人生を、見直してみませんか？

回数	期日	定員
第263回	2018(平成30)年10月19日(金)～10月22日(月)	50名
第264回	2018(平成30)年11月30日(金)～12月03日(月)	
第265回	2019(平成31)年02月08日(金)～02月11日(月)	

※上記が来年度の中央教修の日程となります。茨城東組の連研修了者でご興味のある方は、是非お手次のお寺までお問い合わせください。

## 編集後記

日本勢メダルラッシュの平昌オリンピック。ベスト16のワールドカップ。

響流の原稿締め切りが近づく中、心の中で「そろそろやれよ」と自身に問いかける。「そだねー」とその問いに返しながらも中々動けない。

…さて、もう7月。本年度はじめに目標を掲げた自分に「頑張れ」と活を入れつつ、門徒推進員さんと若手僧侶で仕上げた組報。皆さまの「半端ねー」を期待しております。

釋廣樹